

国産空母は海軍記念日に進水か？

専門家：国産空母の戦力は英仏の空母に勝る

2017年3月27日 08:16 ソース：人民網－環球時報

阿部信行

(訳者コメント)

中国大連で建造中の 001A 空母の進水式期日について、中国人民網の記事を紹介します。

中国の海軍記念日は4月23日であり、この日の可能性があるとしています。評価の仕方を明らかにしていませんが、001A の戦力は、米国空母よりも劣るが、英仏の空母よりも優れていると述べています。国内向けの記事なので、自画自賛しています。

最近中国空母は、再び海外メディアの関心の的になった。多くのメディアは、中国初の国産空母は、4月23日海軍記念日に進水する、と予想している。あるメディアは、この空母の性能は英仏の最新型空母よりも優れている、と述べている。最近取材を受けた中国の軍事専門家は：公表された写真を見ると、この空母は進水する条件は整った、と述べた。またこの空母の性能が英仏の空母よりも優れているかどうか質問したところ、専門家は：「ご飯は一口ずつ食べるものである」（注：技術の習得はSTEP BY STEP の意）。しかし中国は、英仏を超越し米国空母に近い技術をすでに具備している、と述べた。

「2 番目の空母は4月に進水する」

台湾の3月25日版「中時電子報」は次のように述べた：この3月からネット上で次々に出現した”001A 型航空母艦”の写真によって、この国産空母がすでに赤く下塗りされていることがわかった。艦橋はすでに窓ガラスと前部フェーズド・アレイ・レーダーの取り付けが開始された。最近出現した写真ではすでに甲板の整理が始まっており、近々進水する可能性が極めて高い、と。また報道によると、進水日時は海軍設立記念日の可能性があり、それは4月23日である、と。現在までの報道により、国産空母 001A は春節前に進水を迎える状態にあることがわかっている。現在、海軍設立記念日に進水すると伝えた理由は、大陸が自力開発した空母であることから特別の日を選んで記念するはずである、と考えたためである。

ロシア衛星網は次のように報道した。

中国海軍副参謀長王維明は、取材を受けた際に次のように述べた：中国国産空母は早ければ上半期に進水する。これは中国海軍将領が初めて国産空母建造の進展状況を確認した言葉である。報道によると、アナリストは、3月26日に進

水式がなければ、次に可能性がある日時は、海軍設立記念日 4 月 23 日である、と分析した。報道によると、001A 空母は真の意味で中国国産空母であり、完全な自力設計による建造で、遼寧艦を大いに参考にした、と。その上、多くの方面で新たな改修と性能向上を図った。例えばレーダー、通信、武器等核心となるシステムは全て中国の最新型を採用しており、001A の進水は、中国軍の建設に画期的な意義がある、と。

進水の条件は基本的に整った。

英国 JDW 誌 (Jane's Defence Weekly) は、次のように報道した：中国初の国産空母は、船底の塗装作業が完了、ドック内の作業は基本的に終了、進水の条件は整った、と。

ある大陸の軍事専門家は、環球時報の記者に対し次のように説明した。進水作業は、艦艇建造の重要な節目である。この時期、艦船は、船体の建造、塗装、及び一部の大型設備の取り付けを完了している。例えば動力系統である。進水後、さらに艤装が必要である。例えば電子設備と艦載武器である。当然、一部の艤装作業は進水前に、艦船が船台にあるとき、或いは分割建造の間でもすでに行われている。したがって現代艦艇の進水は、艦艇建造過程の大部分が完了していることを意味する、と。

大陸の空母専門家である李杰は、3 月 26 日、環球時報の記者に次のように述べた：空母建造の進度から見て、国産空母は、進水のための条件は確実に整っている。いつ進水させるかは、各方面の要素が整ったかどうかで決定される。一般に、空母のような大型艦艇の進水式のタイミングは、勝手気ままに決めることはできず、意味のある記念日を選択し、海軍及び解放軍のなかで重要な位置づけを行わねばならない。この角度から述べると：海軍記念日が比較的適切な選択である。しかし進水には、また多くの要素が関係する。例えば、国家がこの種の戦略的軍種を重視していることを示すため、一般に大型艦艇の進水式には、国家の高レベルの指導者が出席する。したがって出席する指導者のスケジュール調整も必要である、と。

そのほか、環球時報の記者は、” 軍事オタク ” によって ” 大乳母 ” と呼ばれる国産空母補給支援船の建造が同時に進行しているのを発見した。廣船国際が最近掲載したある説明図によると、中国海軍が建造した 2 番目の快速戦闘支援艦が間もなく完工し、進水の条件が整うという。昨年末、同型補給艦の 1 番艦が試験航海を行った。専門家は：同型高速補給艦は、空母編隊を専門にサービスする。排水量は 4 万トン以上、最高時速は少なくとも 25 ノットである、と述べた。一つの空母編隊が必要とする物資、燃料、装備等の数量は巨大であり、種類が多く、大きな補給艦が必要である。しかも空母編隊の航行速度は速く、高速の補給艦が必要である。大型の高速補給艦があれば空母戦闘群は戦力を十分発揮することができる。現在、中米両国だけが同種の艦船を建造している。も

し1艘目の補給艦が遼寧艦の補給を専門に担当するのであれば、2艘目の補給艦は最初の国産空母のサービスを担当することになる。

戦力は、”英仏の空母よりも優れている”

台湾メディアは：”山東艦”と命名される可能性がある001A空母は、能力全体から見れば、米国”ニミッツ”級或いは”フォード”級には相当劣るが、英国の”クイーンエリザベス”級及びフランスの”ドゴール”に比べると、戦闘力はやや優れている可能性がある。しかしロシアの”クズネツォフ”号及びインドの”ウェイラト”号に比べると、はるかに優れている、と述べた。同報道はまた：”山東艦”は、先人の技術を引き継ぎ、新たな技術を開拓した空母である。同艦は遼寧艦から旧ソ連の技術を継承し、さらに西側の空母技術を一部取り入れており、中国の特色ある現代化高技術空母となった、と述べた。

李杰は、中国空母の開発は、一定の成果を得た。しかし西側空母大国の技術に比べると、やはり劣ることを客観的に評価しなければならない。”ドゴール”号は核動力系統、及びカタパルト方式を採用した。また固定翼早期警戒機を装備した。したがって001Aは、相手方と簡単に比較することはできない。技術方面だけでなく、英仏等、西側強国の空母運用の歴史の積み重ねを見なければならない。中国は、ひたすら世界の最先進空母技術を追求してきた。関連系統方面ではすでに一定の成果を得た。英仏空母を超越するのは時間の問題である、と述べた。（章節、劉揚）

（編集責任者：邱越、閻嘉琪）

以上

※ 次頁に「中国大連で建造中の001A-3空母」の写真あり

中国大連で建造中の 001A-3 空母



该图由 052D合肥舰 上传至 超大大军事论坛 CJDby.NET